

「第1回農場管理認定獣医師認定試験」の実施

令和7年1月25日（土）、第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和6年度）の会場である仙台国際センターの展示棟・展示室3-Bにおいて、「農場管理認定獣医師」の初の認定試験が実施された。

このたびの第1回試験では、「乳牛農場管理認定獣医師」の受験者5名、「肉牛農場管理認定獣医師」の受験者2名の計7名が受験した。

試験方法は筆答による多肢選択方式（マークシート）により行われ、試験の出題範囲は、①獣医師法、獣医療法をはじめとした獣医師に関連する関係法令、②農場管理認定獣医師研修プログラム（基本プログラム、認定プログラム）、③その他、農場管理認定獣医師として必要とされる獣医学に関する知識及び一般知識を対象とし、共通問題が20題、動物種別（乳牛・肉牛）問題は各30題の合計50題の設問全問の解答を必要とした。

また、試験時間は60分間とし、試験開始時間の20分前に試験官から試験に関する注意事項が説明された後、試験を実施した。

受験した獣医師からは、思いの外、問題が難しかった等の意見が聞かれたが、以下に記載の試験結果のとおり、受験者7名全員が合格することとなった。

この後、第1回農場管理認定獣医師認定試験の合格者は、農場管理認定獣医師としての登録申請を行い（要登録料納入）、これが認められることにより本年3月中旬に

は初の「農場管理認定獣医師」が誕生することとなる。

なお、この「農場管理認定獣医師制度」は、(公社)日本獣医師会の日本産業動物獣医学会が新たに策定した制度であり、「農場管理認定獣医師」に必要とされる関係法令や知識・技術等の修得をはじめ、専門的講義や実習、バーンミーティング形式の実践的実習（4～5日間を目安）を受講し、さらに認定試験の合格を必要とする。

「農場管理認定獣医師」の資格取得のためには、日本産業動物獣医学会の会員（日本獣医師会の会員構成獣医師）であるとともに、5年間以上の農場管理獣医師に係る業務経験を必要とし、日本産業動物獣医学会が作成した「農場管理認定獣医師研修プログラム」の受講を必要としている。

日本産業動物獣医学会による初の認定獣医師の誕生は、わが国の産業動物獣医師が、今後より一層、家畜衛生等に関する高度・専門的な知識や技術を修得することを牽引し、産業動物獣医師全体のレベルアップに貢献するのみならず、処遇改善や獣医師不足の解消へと繋がることが期待される。

今後、「農場管理認定獣医師」が幅広い知識と技術をもって、飼養衛生管理基準に規定された農場ごとの担当獣医師として防疫業務等に貢献ができるよう、日本獣医師会として引き続き人材育成に努めていく。

第1回農場管理認定獣医師（乳牛・肉牛）認定試験の結果

1 実施概要

令和7年1月25日（土）、仙台国際センターにおいて第1回農場管理認定獣医師認定試験を実施

2 合否判定基準

共通問題及び動物種別問題を合計した総合点の60%

3 試験結果

区 分	受験者数	合格者数	合格率
乳 牛	5	5	100.0%
肉 牛	2	2	100.0%
合 計	7	7	100.0%